



小関 篤司

◆安心・安全な上下水道の安定供給、料金引き下げについて

◎**上水道の有収率（供給した水量と料金として収入があった水量の比率）、下水道の普及率、水洗化率向上の取り組みと今後の見通しは。**

◎**上水道の有収率は平成30年度で年間88.63%。取り組みは市民や検針員の連絡により、漏水箇所の早急な修繕を行っています。見通しは配管の老朽化が進んで低下の傾向。現状維持をベースに漏水調査の方法、老朽管の布設替えを継続し、向上に努めます。下水道は30年度末で普及率84.4%、水洗化率82.8%です。普及は今年度妻木町の区画整理地内など、未整備路線、私道の整備を行う予定です。水洗化は30年度に410件の使用開始。見通しは普及率、水洗化率はしばらく増加傾向が続くと考えます。**

◎**経営戦略のなかで漏水調査は「民間委託では限界」とされているが、過去のように職員として雇えないか。**

◎**以前いた漏水調査員は長い期間の育成が必要で人事異動等の状況から**

技術の継承は難しいと考えます。

◎**水道料金の水準は県下でどうか。**

◎**上水は21市のなかで瑞浪市と並んで一番高い状況。下水は9番目。**

◎**水道料金が高い原因は。**

◎**県水の原価が高いこと。土岐市の地形上、高低差が非常に大きく、電気設備の維持管理経費がかかります。**

◎**市民から水道料金引き下げの声を沢山頂きました。見直しの考えは。**

◎**老朽管の布設替え、配水管の耐震化工事、これらの維持更新に多くの費用がかかるため現在の料金引き下げはちよつと困難なところ。当面今までの料金を維持し、事業を進める経営戦略を立てています。**

◎**土岐市は水道事業ビジョンの中では10年後まで継続して利益を創出できるとなっています。60億円近い企業債も2016年度には34億返している状況で、料金を下げられない、はあまり納得できない。下げる余裕があるのではないか。**

◎**料金を下げた状況で企業債を残すと将来に非常に重い負担を残す。現行料金を維持しながら強靱化を図る必要をご理解頂きたいと思えます。（市長）経営の中身をチェックして、出来る限り料金を抑える最大限の努力をしていきます。**

◎**私も県の方へ県水引き下げの交渉をこれからも要求していきます。**

《第3回定例会一般質問》



水野 哲男

◆土岐市の自治会（町内会）について

加入者が減少し、先細りとなっていく自治会（町内会）が全国的な課題となっている。少子・高齢化による近隣同士の助け合いの関係が希薄になってきている現代こそ、一人暮らしの高齢者が安心して暮らせる環境や、いつ起こるか分からない災害等に備えるための自治会組織が必要であり、自治会の役割は大きいと考えるが、市の対策や政策について聞きたい。

◎**土岐市の自治会加入率は。**

◎**算定の方法として、各町内で取りまとめたいただいた町内会加入世帯数を、市の住民基本台帳登録世帯数で割って出しているの、分母が町内会で考えてみえる世帯数よりも大きくなるということを知っていました。市全体で69%である。**

◎**自治会への依頼事項の種類や内容は。**

◎**市が直接お願いしているものとして、毎月2回配っていたらいいという広報、回覧板の配布がある。それで**

外に、ごみステーションの管理、道路、河川、公園などの清掃、高齢者の見守り活動、町内要望の取りまとめ、各種委員の推薦などをやっていたらいい。

◎**町行政にとって自治会はどこまで必要な組織と考えているのか。**

◎**自治会のあり方として、自分たちで解決する自助、地域課題を地域で解決する共助、地域や個人で解決できないことを行政が担う公助という補完性の原理の考え方があ。**

◎**この考え方の中で共助の役割を担っているのが自治会であると考えている。防災や子育て、高齢化等地域課題が多様化する中で、住民に一番身近な地縁組織である自治会だからこそ共助ができ、必要不可欠であると考えている。**

◎**自治会の維持、強化策は。**

◎**市内の全ての、250の自治会に実態調査を行い、現在抱えている課題や問題点を把握、分析し、その後、仮称「共助のまちづくり検討会」を立ち上げ、市民が自治会に求めていることや、問題点を洗い出し、加入率の増加に繋げていくなどの検討を考えている。**

◎**自治会は、市の下部組織ではなく、地域を支える組織であり、今後ともより良い自治会運営に、ともに取り組んでいきたい。**



高井由美子

◆食品ロス削減について

問食品ロス削減への取り組みは。

答意識改革の啓発を行っていた。今後、食品ロス削減の推進について研究してまいりたい。

問食育推進基本計画の重点課題、食の循環や環境を意識して食育の推進について土岐市は。

答健康づくり計画「健康とき21」は令和2年が中間評価年で計画の見直しを行う。食品ロスについて、基本的考えを入れる。

◆プログラミング教育について

問プログラミング教育の実施について。

答今年を準備期間として、環境整備として、パソコン教室のパソコンをウィンドウズ10に入れかえ、各小学校に10台ずつタブレットを導入する。

今年度、泉小学校をプログラミング教育の研究指定校とし、先駆的に模擬授業の実践を行い、プログラミング教育の指導計画を策定する。

外部支援として、岐阜大学の先生

や、核融合の先生方のご協力や直接指導を受ける。

8月31日に小学5・6年対象の「初めてのプログラミング ドローンを飛ばそう」を実施予定。

◆健康ポイント事業について

問健康ポイント事業の実施状況は。

答20歳以上の方で、がん検診や特定健診など13の検診と健康づくり講座、イベントを実施した。はつらつ元気塾や脳の健康教室など7教室の参加は230名参加。ミナモ健康カードと抽せん申込み券を交付した。

●健康寿命を延ばすために一人でも多くの市民の方々が楽しく参加して、介護予防や健康づくりを行っていただけるよう、健康ポイント事業の普及啓発を。



岐阜県健康ポイント事業啓発ポスター

次回 9 月定例会 (予定)

※午前9時 開会予定 (変更の場合あり)

日	月	火	水	木	金	土
8/25	8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31
		本会議 初日 (議案提案説明)				
9/1	2	3	4	5	6	7
					本会議 2日目 (質疑・委員会付託 ・一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 3日目 (一般質問)	本会議 4日目 (一般質問)	文教厚生 委員会	文教厚生 委員会	文教厚生 委員会	
15	16	17	18	19	20	21
		総務産業建水 委員会	総務産業建水 委員会			
22	23	24	25	26	27	28
29	30				本会議 最終日 (委員長報告 質疑・討論・採決)	